

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	小児卵巢腫瘍15例の臨床的特徴の検討		
2. 対象患者	1997年から2018年12月までに当科で小児卵巢腫瘍に手術を施行した患者様		
3. 対象となる期間	1997年4月1日 ~ 2018年12月31日		
4. 実施診療科等	小児外科		
5. 研究責任者	氏名	小林 完	所属 小児外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません		
7. 研究の意義	小児卵巢腫瘍は茎捻転(子宮と卵巢をつなぐ卵管が軸となってねじれてしまうこと)として発症することも多く、妊孕性(こどもを作るための機能として卵巢で正常に卵子が形成されること)や機能温存のために迅速な対応を要します。その特徴を詳細に検討することで、より良好な手術成績・成果を追求できる可能性があります。		
8. 研究の目的	当科で小児卵巢腫瘍の手術を施行した15人の患者様の術式、成績、腫瘍の特徴を詳細に検討し、各術式の長所・短所を考察します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	患者様への直接的な負担がかからないような方法です。診療録に残っている情報を使用する研究です。診療録から病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、既往歴などの情報を使用し検討します。		
10. 個人情報の保護	対象患者様のプライバシーに十分配慮し、情報の漏洩防止に努めます。患者様個人が特定される情報を公開いたしません。研究内容を当科ホームページに公開し、連絡先を提示することで対象者の本課題への参加撤回の自由を確保します。本研究で得られた個人情報はデータの統計的分析にのみ使用され、学会発表においても個人を特定できる情報を削除し発表します。対象患者様より参加拒否の申し出があった際は、研究対象から除外いたします。ただし、既に研究結果公表済みの場合は公表済みのデータを修正することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。		
12. 連絡先	小林 完(こばやし たもつ): 弘前大学医学部附属病院小児外科		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080